

議事 3 いのち支える奈良市自殺対策計画について

- (1) 「いのち支える奈良市自殺対策計画」の実績
- (2) 「第2次いのち支える自殺対策計画」(案)について

現計画の目標値

	H27	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R8	
	基準値	計画策 定年	第1次計画期間						目標値
目標値		13.1	→					12.8	10.6
対 H27 年比%	100	86.8	→					85.0	70.0
実際の 数値	15.1	14.2	19.0	16.3	13.5	16.4	—	—	

※「目標値」と「実際の数値」は、自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）です。

自殺対策関連事業の評価（基本施策）

	事業数	A	B	C	評価不可
令和元年度	41	2	39	-	-
令和2年度	43	3	33	1	6
令和3年度	43	2	34	1	6
令和4年度	43	3	35	2	3

※評価指標

「A」→指標を達成できた、例年以上に成果が出た

「B」→おおむね指標どおりに達成できた、例年どおり良好である

「C」→指標を達成できなかった、例年より課題が多かった

「評価不可」→新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できなかったもの

自殺対策関連事業の評価（重点施策）

	事業数	A	B	C	評価不可
令和元年度	35	-	32	1	2
令和2年度	36	-	33	1	2
令和3年度	36	2	32	2	-
令和4年度	36	4	32	-	-

※評価指標

「A」→指標を達成できた、例年以上に成果が出た

「B」→おおむね指標どおりに達成できた、例年どおり良好である

「C」→指標を達成できなかった、例年より課題が多かった

「評価不可」→新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できなかったもの

第2次いのち支える自殺対策計画

趣旨：市民の誰もが自殺に追い込まれることのない奈良市

位置づけ：奈良市第5次総合計画

第3章くらしづくり 4 医療体制の充実と健康の増進

計画期間：令和6年度～令和10年度（5年間）

数値目標：限りなくゼロに近づける

構成：計画（趣旨や目標、分析、施策の説明を掲載しているもの）と行動計画（施策別に事業を掲載しているもの）の二層化。

「地域自殺実態プロフィール2022」の重点課題

「地域自殺実態プロフィール2022」で分析された結果、「推奨される重点パッケージ」として以下の3つと、奈良市独自で追加した重点課題があります。

プロフィールの重点課題

高齢者
生活困窮者
勤務・経営



追加の重点課題

子ども・若者

【推奨される重点パッケージ】

- ・ 「奈良市の主な自殺の特徴」の上位3区分の自殺者の特性と背景にある主な自殺の危機経を参考に「子ども・若者」「勤務・経営」「生活困窮者」「無職者・失業者」「高齢者」の中から選定されます。
- ・ 過去5年（平成29年から令和3年）の合計に基づいており、集計年により異なる可能性があります。
- ・ 経年的な推移（過去5年の増加傾向等）は考慮されていません。

今回の計画見直しからの変更点

- 生きづらさを抱えている人々が少しでも生き心地の良い生活を送ることができるよう、「生きることの促進要因(自殺に対する保護因子)」を増やす取り組みを行うため、「自殺総合対策大綱」の重点施策と連携する。
- 自殺対策の「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指す」という基本理念と、SDGsのスローガン「誰一人取り残さない」が合致することから、自殺対策はSDGsの達成に向けた政策とする。

自殺対策関連事業に、自殺総合対策における当面の重点施策やSDGsのゴールを明記する。